発行日　平成22年11月30日
高知学園短期大学図書館運営委員会

Kochi Gakuen College Library News

らぶっく

No.3
2010.11

目次

図書館の思い出と恩恵　1
平成22年度大学図書館職員短期研修に参加して　1
CiNii（サイニィ）で雑誌論文を探そう　2･3
数字で見る図書館利用状況　3
図書館利用のススメ　4
開館カレンダー　4
編集後記　4

図書館の思い出と恩恵

教務部長　吾妻美子

図書館には懐かしい思い出が沢山あります。高校時代の図書館は、明治時代に建築された洋風の瀟洒な建物でした。汽車通だったので、授業が終ってから汽車の時間まで閲覧室で勉強や読書をして過ごしました。大学は山の上にあったためか、風の強い日には、ガラス張りの図書館にいると、「ヒューヒュー」という風の音がして、まるでエミリー･ブロンテの「嵐が丘」のようだと思いながら実験のレポートを書いていた記憶が甦ります。図書館は私の勉強を助け、そして心も育んでくれました。

何といっても、図書館から受けた恩恵は就職してからです。最初の就職先の東北大学医学部には、大きな図書館があり、世界中の自然科学や医学のジャーナル（雑誌）をとり揃えていましたので、仕事や研究のために必要な論文探索に活用しました。その後、32年前に高知に移り本学に奉職するかたわら、高知県立中央病院（現高知医療センター）で研修の機会を与えていただき、私の文献探索の場は病院の図書館になりました。ここにも、私の研究と学生の教育に必要な病理学のジャーナルは何種類も揃っていました。論文作成に際して、自分の研究内容と結果の普遍性、客観性、信憑性を検証するために、数多くの研究者の論文を参考にして考察します。図書館の何冊もの文献の中から、自分が求める論文を見つけたときは、宝物を探しあてたような喜びです。

本を愛す「らぶっく」はとても素敵な愛称です。専門書であれ小説であれ、本は私達を知らない世界へいざなってくれます。本の中の人物に出会うこともできます。文字を読んで、自分で好きなように空想し夢をふくらますこともできます。是非、いろいろなジャンルの本を読み楽しい時間をつくってみて下さい。

高知学園短期大学の図書館が、学生や教職員にとって、勉強に研究に大いに活用できるよう、より一層充実することを願ってやみません。

平成22年度大学図書館職員短期研修に参加して

平成22年10月5日から8日までの4日間、京都大学にて開催された平成22年度大学図書館職員短期研修を受講しました。この研修は、国立情報学研究所（NII）主催であり、大学図書館に勤務する若手職員を対象に、今後の図書館運営を担う要因となる上で必要な図書館業務の最新の知識を習得することを目的としています。

1日目は大学図書館の現状と課題について、大学運営者･大学図書館職員･大学教員それぞれの視点からの講義を聴講しました。

2日目に行われた講義では「学術情報リテラシー教育」「目録」「著作権」という主題について、大学図書館における最新の動向が紹介されました。

3日目の講義では、大学共同利用機関であるNIIの活動、研究者の学術情報コミュニケーションの動向、電子コンテンツ導入の現状と課題といった、大学図書館を取りまく諸活動についての概要を学びました。

4日目は海外研修経験から見えた大学図書館と、職員としてのスキルアップ法についての講義がありました。

4日間を通し、大学図書館職員として必要な知識の習得を目的とした講義の他にグループ討議があり、議題は「大学図書館の新たな可能性を考える」でした。大学図書館は、図書館の電子的機能の整備充実だけでなく、新たな学習教育支援の役割も求められるようになってきています。そのような状況を踏まえた上で、大学図書館の新たな可能性について考えるということをグループ討議を通して学びました。

グループ討議ではラーニングコモンズや24時間開館された図書館、カフェが併設された図書館,アメリカや韓国の大学図書館の例など、多くの具体案が持ち寄られました。討議の結果、私の班は「場」の整備とPRをバランスよく行った利用者に信頼される図書館づくりの提案という形で報告をまとめました。

今回の研修は年齢の近い職員が集まっており、互いに情報交換をし、それぞれの考え方や図書館での活動に大きな刺激を受けました。また、大学図書館職員として熟知しておくべき事柄や現状について確認するとともに、周囲の動向･状況や最新トピックスに対しアンテナを張っておく必要があると感じました。今回得られた情報を知識まで高め、高知学園短期大学図書館業務の質の向上に向けて役立てていきたいと思います。

司書　諏訪有香

CiNii（サイニィ）で雑誌論文をさがそう

レポート課題を出されたら、まず何をしますか。レポートを書くにはテーマに関連した本や論文を読むことが必要です。図書館を使って本や論文を手に入れる方法を紹介します。
⇒日本語の論文を探すならCiNii（サイニイ）　http://ci.nii.ac.jp/

図書館ホームページ＞情報検索＞雑誌論文を探す　からアクセスできます

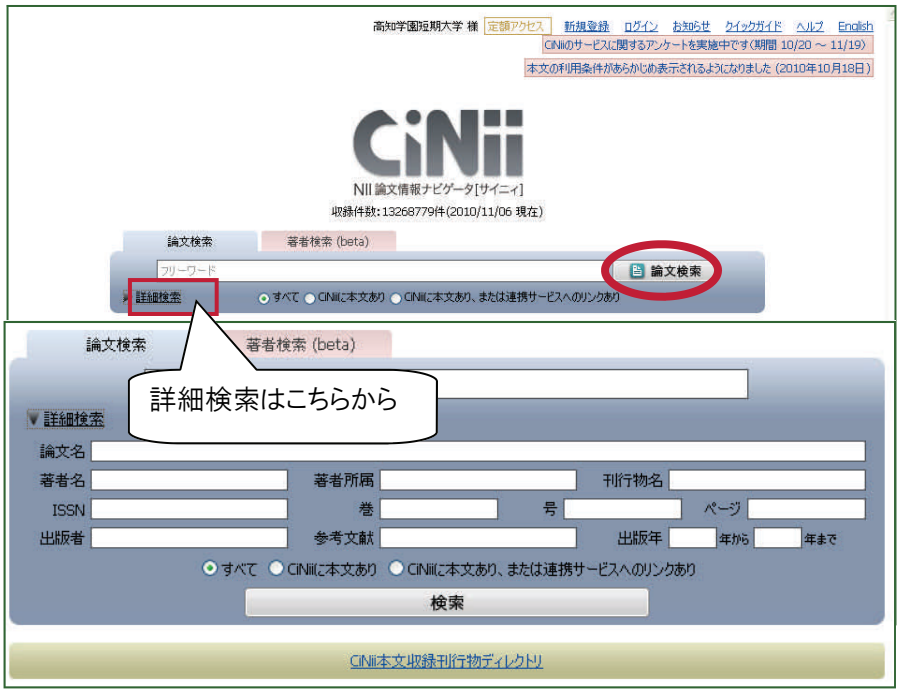
CiNiiは国立情報学研究所が運営する論文情報ナビゲータです。日本で発行された学協会誌、大学研究紀要、国立国会図書館の雑誌記事索引DBなどが検索できます。収録論文数は約1200万件でそのうち約320万件は本文PDFを閲覧できます。一般的に学術的な研究成果は論文という形で雑誌に掲載されるので、雑誌に載っている論文は図書と同様に学習や研究のために有用な情報になります。雑誌論文はOPACでは検索できないので、論文情報が検索できるCiNiiのようなデータベースを利用して探します。

①検索画面

トップページは簡易検索です。入力した文字列が、登録されている論文の様々な情報（論文名、著者名、抄録等）のどこかに合致した論文を探し出します。

数字・アルファベットの大文字小文字、全角半角は区別しません

検索例
「教育実習」または「臨床実習」を含む論文を検索

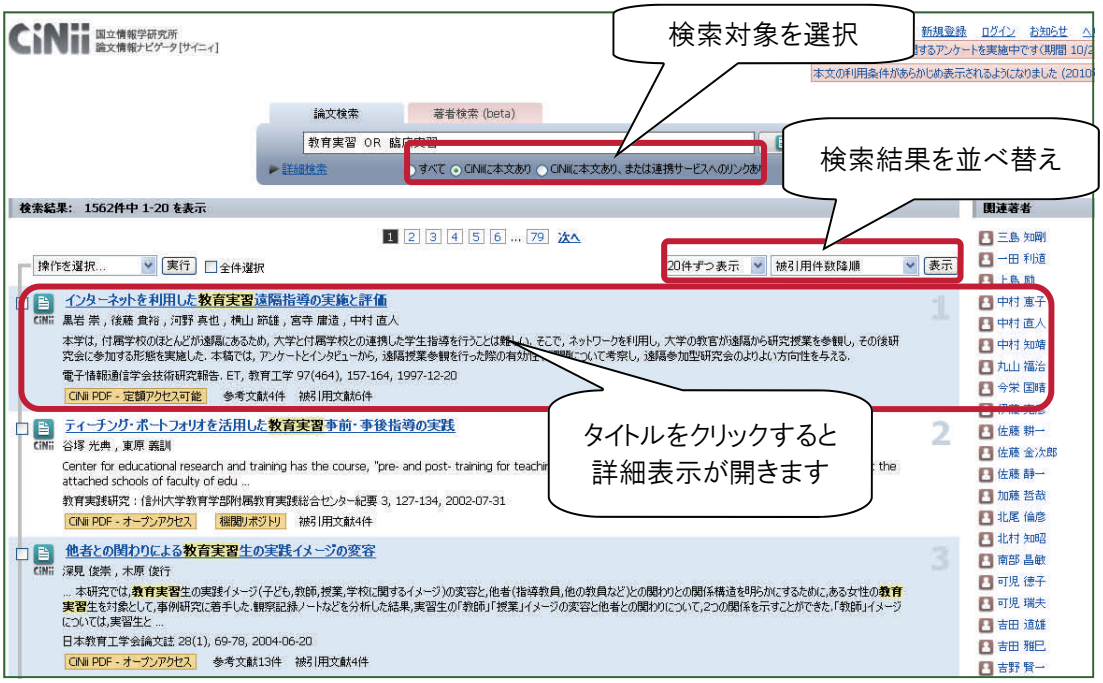


②検索結果一覧

論文タイトルや基本情報の他に、リンク情報や参考文献数、被引用文献数などが表示されます。

検索対象を本文ありの論文に限定することもできます。

検索結果を並べ替えて再表示できます。引用された件数順から影響力の大きな論文を探すことも可能です。



③検索結果詳細表示

論文のタイトル、著者名、論文が掲載されている刊行物名、巻、号、頁が表示されます。

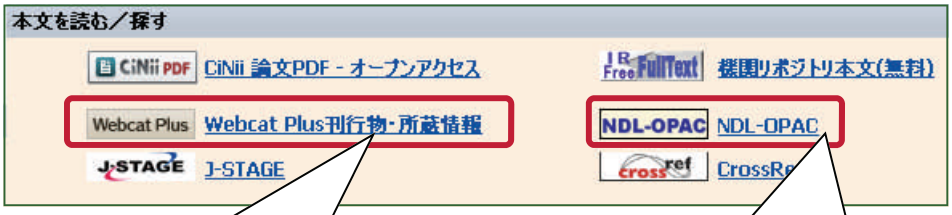
これらを「書誌情報」といい、論文を探す場合に大切な情報です。

この論文は、「電子情報通信学会技術研究報告. ET, 教育工学」という雑誌の、97巻464号（1997年12月20日発行）の157-164ページに掲載されていることがわかります

④本文表示

本文を閲覧するには「CiNii本文PDF」または「J-STAGE」「機関リポジトリ本文」のアイコンをクリックします。

条件により閲覧できない場合は、その雑誌を所蔵している図書館を調べることができます



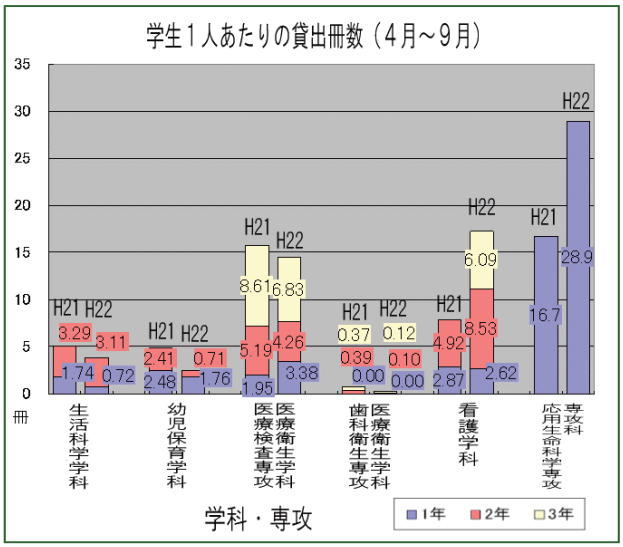
この雑誌を所蔵している図書館を調べることができます

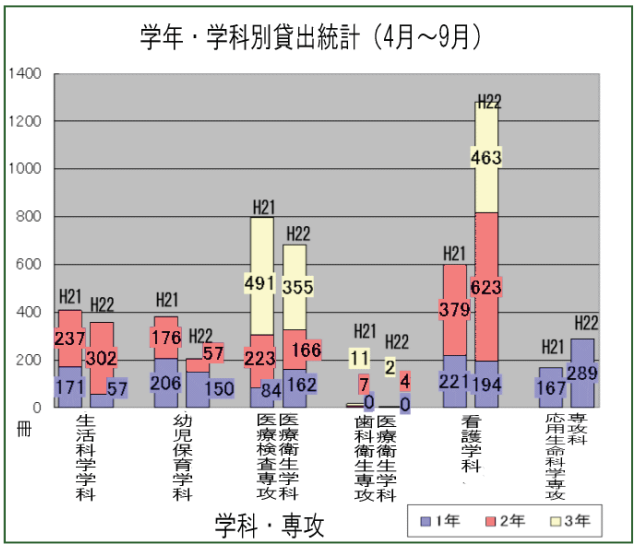
NDL（国立国会図書館）の雑誌記事索引へのリンクです

図書館ではさらに詳しい使い方のパンフレットを用意しています。論文の探し方・入手の仕方でわからないことがあれば。。。。カウンターにお問い合わせ下さい。

数字で見る図書館利用状況（2010年4月～9月）

前期の学生1人当たりの貸出冊数と学科・学年別貸出冊数を調べ、昨年と比較してみました。医療検査専攻の1年生、看護学科、専攻科応用生命専攻では昨年度を上回っていますが、それ以外はやや減少傾向です。図書館には学習・研究に使う本だけでなく、学生生活を支援する本もたくさんあります。貸出冊数に制限はありませんので何冊でも借りることができます。次号では新着図書を紹介しますので、どんどん利用してください。





※生活科学学科・幼児保育学科は2年課程。看護学科は平成20年に開設したため、平成21年度は2学年のみ

らぶっく　Kochi Gakuen College Library News　高知学園短期大学図書館報　第3号　2010年11月
編集発行　高知学園短期大学図書館運営委員会　〒780-0955 高知市旭天神町292-26　TEL 088-850-0033　ホームページアドレス http://www.kochi-gc.ac.jp/toshokan/

図書館利用のススメ（学生編）

皆さん、図書館を利用してますか？前回に引き続き図書館大好き学生の皆さんに図書館の利用法について教えてもらいました。あなたが図書館を利用するヒントにして下さい。

私の図書館の主な利用法はレポートや試験勉強のための文献を借りることです。パソコンを利用して蔵書検索をすれば目的とする文献を簡単に見つけることができます。図書館には数多くの専門書があり、ひとつの事柄でも書籍によってその切り口はさまざまです。そのため、何冊か参照することでたくさんの知識を得ることができます。また、図書館には専門分野の月刊誌も置いてあるので、常に新しい情報を得ることができます。

そして、もう一つは勉強場所としての利用法です。図書館は静かで書籍も多数あるので勉強をするための環境が整っています。理解できない部分をその場で調べ、解決することができる点で非常に便利です。特に、長期休暇中の図書館は人の出入りが少なくなるので集中して勉強に取り組むことができると思います。息抜きに専攻外の書籍など読むのも楽しいです。

このような目的で、私は図書館を利用しています。図書館は利用すればするほど自分にとって新しい活用法が見えてくるのでこれからも最大限に活用していきたいです。

医療衛生学科医療検査専攻　横山安由子

図書館は、未来の自分と会話のできる場所です。図書館もさまざまで、例えば学校の図書館、市民図書館、大学の専門的図書館などです。いずれも誰もが自由に探し物や勉強をすることができ、またその使用目的があります。ある所では広い空間を利用し、子どもたちが楽しみな紙芝居や、あるいは絵本を読み聞かせたりするところもありました。

私はそんな図書館に思い出も深く、人一倍思い入れが強いようです。これまで通っていた学校の図書館にはたくさんの学生の想いが刻み込まれているように感じていましたし、きっと今でも当時のまんまだろうなと想像したりします。

最近は本を読む人の数が少なくなったように思い少しさびしい気がしますが、大学の図書館も私にとっては大切な場所です。本を借りたりさまざまな書物に出会う中で、普段は思いもつかない発見をしたり、そんな目的以外にも人との出会いがあったり、ふらっと立ち寄り何も考えずにただ机を前に座ると、不思議と落ち着いた気分になったりする素敵な空間なんです。

幼児保育学科1年　竹村亜依香

開館時間のお知らせ

2010年 12月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2011年 1月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

無印は8:30～18:00、　は8:30～17:00、　は休館です

編集後記

らぶっく第３号をお届けします。
今回は吾妻美子教務部長に寄稿していただきました。また、前号に引き続き、図書館利用のススメ（学生編）として医療衛生学科医療検査専攻の横山安由子さん、幼児保育学科の竹村亜依香さんにそれぞれ寄稿していただきました。本当にありがとうございました。

今回はCiNiiの利用方法の情報を掲載しています。レポート作成時などにご利用ください。
次号は1月31日発行予定。卒業後の利用方法や新着図書情報などを掲載する予定です。
皆さんの「らぶっく」に関するご意見・ご感想をお待ちしております。新着書架横の「利用者の声」BOXに投函してください。

ホームページもご覧下さい
http://www.kochi-gc.ac.jp/toshokan/